

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	生理学 5	
科目基礎情報					
開設学科	鍼灸科	コース名		開設期	前期
対象年次	3年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	東洋療法学校協会 指定教科書				
担当教員情報					
担当教員	岡安 維蓉		実務経験の有無・職種	鍼灸師	
学習目的					
臨床活動を行う際に必要な知識である、「人体の機能」について詳細に学ぶ。疾病を理解するうえで、正常な機能を知ることが重要な基礎知識である。また、他の医療関係者との共通言語として用語を理解し身に付けることが目的である。					
到達目標					
鍼灸の学習を進めるうえで必要な正常な機能に関する知識を修得する。医療の基礎となる用語を理解し身に付けることが必要となる。そのうえで人体の生命活動のシステムを学び人体に対しての理解を深める。細胞レベルから人体の恒常性を維持するための種々の特性を学び理解する。					
教育方法等					
授業概要	生理学を学ぶ意義理解する。人体の生命活動を細胞レベルから理解する。細胞の代謝に関わる基本を理解することから始まり、体内環境に関する恒常性について理解する。続いて血液・脈管系・呼吸器系に関する体内での機能を理解する。				
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	100%	期末試験（筆記試験）		
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 （口頭・実技）	0%			
	平常点	0%			
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	筋		筋の分類・骨格筋の構造と働きを理解する。		
2回	筋		筋の収縮の仕組み・筋のエネルギー供給の仕組みを理解する。		
3回	筋・運動		心筋、平滑筋の構造と働き・骨格筋の神経支配を理解する。		
4回	運動		骨格筋の神経支配を理解する		
5回	運動の調節		脊髄レベルでの調節・を理解する		
6回	運動の調節		脳幹・小脳・大脳基底核による調節を理解する。		
7回	運動の調節		大脳皮質による調節・錐体路系と錐体外路系・発声と言語を理解する。		
8回	感覚		感覚の一般性質・体性感覚の構造と働きを理解する。		
9回	感覚		内臓感覚・痛覚の構造と働きを理解する。		
10回	感覚		痛覚の構造と働き・特殊感覚の味覚、嗅覚の構造と働きを理解する。		
11回	特殊感覚		聴覚・平衡感覚の構造と機能を理解する。		
12回	特殊感覚		視覚の構造と機能を理解する。		
13回	生体の防御機構		免疫・免疫反応の分類・炎症とアレルギーを理解する。		
14回	ホメオスタシスと生体リズム		ホメオスタシスと生体リズムを理解する。試験		
15回	前期期末試験の解説		試験問題を通して、3年間で学んだ知識を深める。		